



1. 荒屋町住宅団地町会50周年記念事業「第5回実行委員会」開催！

6月28日(木)PM8:00より荒屋会館3階において、荒屋町住宅団地町会50周年記念「第5回実行委員会」が開催されました。協議事項として記念誌の原稿依頼状況について(歴代町会長の回想録・各組織代表者)町会活動等に関する写真の提出状況の把握、および録音テープの原稿起こしのスケジュールを7月中に完了する事の確認と盆踊り大会の計画概要についての話し合いがなされました。次回開催日を7月27日(木)に決め終了致しました。

2. 第48回千坂校下町会対抗バレーボール大会開催される。

7月1日(日)AM8:30より金沢市森本市民体育館において、第48回千坂校下町会対抗バレーボール大会が開催されました。校下14町会17チームの精鋭が町会の名誉を賭け、優勝を目指してそれぞれが奮闘しました。対戦は決勝トーナメント進出のリーグ戦を4ブロックに分割して行われ、当町会は1回戦疋田新生会チーム、2回戦横枕チームと対戦することになりました。対戦結果は奮闘むなしく敗退。午後の2回戦の横枕チームとの対戦も敗北を喫し、決勝トーナメント戦の進出はなりませんでした。今回の選手団は新たに若手数名が加わりましたが、しばらくバレーボールと遠ざかっていた人が多く、連携プレーができなかった事が敗因といえるでしょう。といえども、来年の活躍が大いに期待できます。

選手、応援の皆さん、ご苦勞様でした。

3. 町内3公園の草刈りを行いました。

7月22日(日)AM7:00より10:00まで町内の3公園(南小公園・北小公園・児童公園)の草刈りを執行部役員、各班長で行いました。うだるような暑さの中、皆さん汗だくになって奉仕して頂きました。ありがとうございました。

4. 荒屋町住宅団地町会50周年記念事業「第6回実行委員会」開催！

7月26日(木)PM8:00より荒屋会館3階において、荒屋町住宅団地町会50周年記念事業「第6回実行委員会」が開催されました。協議事項として記念誌の構成(目次)について、原稿起こしのスケジュールを7月中から8月中に繰り延べする事を確認、座談会の文章内容のチェックを行いました。次回は8月29日(水)に開催することを決め終了致しました。

5. 拡大役員会(執行部・班長・各部会代表者)開催される。

7月27日(金)PM8:00より荒屋会館3階において、第2回拡大役員会が開催されました。今回は、盆踊り大会についての中心議題でした。8月11日の盆踊り内容について概略説明と班長さんの役割分担を決定、前日の仕事分担、8月12日の後片付け等の説明がありました。

6. 子供会による家族県政学習バスが8月3日に実施されました。

8月3日(金)AM9:00に南小公園に集合、子供会の小学生37名と育成委員会の竹本部長、稲本副部長、田上町会長、中山副会長、太田、堂口、高崎さんの付き添い7名、合計44名で「家族県政学習バス」の1日研修に出発致しました。最初の見学場所「いしかわ子ども交流センター」に9:30到着、プラネタリウムの開始時間まで館内を見学後、待望の「ポケットモンスター・ベストウイッシュ 光と影の天球儀」を鑑賞、3D画像の迫力は大人でも十分楽しめる内容でした。次に中戸町の「石川県埋蔵文化財センター」に、施設の概要説明を映画で受けた後、昼食タイム、PM1:00から埋蔵品の洗浄工程や収蔵倉庫、古代人が住んでいた住居跡や奈良時代の家屋等を見学しました。PM2:00からいよいよ体験学習へ、まが玉造りと土鈴づくりの2チームに分かれて開始、慣れない道具に悪戦苦闘しながらもPM3:30には全員完成、子どもたちの顔が笑顔一杯になりました。最後に銚子町の「石川県立自然史博物館」へ、玄関ホールの象と馬の骨格模型にまずびっくり、植物の外来種と日本固有種の企画展示の説明を受け、後は時間まで自由に見学。PM5:30に荒屋団地に無事帰ってきました。今回の家族県政学習バスが子どもたちの夏休みの良い思い出づくりになったのではと思っております。機会があれば、このような催し物をまた企画したいと思っております。

付き添いの皆様、本当にありがとうございました。



古代人の住居跡。奈良時代の家屋の見学



まが造りや土鈴づくりに真剣なまなざし

7. 町会50周年記念「第47回納涼盆踊り大会」盛大理に終了！！

6月より町会執行部役員、班長、各部会代表者、各種同好会代表者の総力を挙げて取り組んできました「第47回納涼盆踊り大会」が8月11日(土)荒屋八幡公園において盛大に開催されました。前日、当日AM8:00からの会場設営、各コーナーの準備等大忙しでしたが、開始時刻には、午前中の雨模様も嘘のように晴れわたり、絶好の盆踊り日和になりました。

PM4:30、太田実行委員長による開会宣言が行われ、中山副会長の司会で最初は町民によるカラオケのど自慢大会が開始され、15名の出演者が熱唱し会場を沸かせました。飛び入りで田中展郎市議が「酔歌」を熱唱され、大声援と拍手がおくられました。

また、悠々サロン、料理同好会のスタッフにより、メッタ汁&山菜おこわが先着250名様にふるまわれました。



当日は千坂校下3町会で盆踊り大会が開催されたことから、来賓の馳衆院議員、中村県議、田中展郎市議、西田町連会長の皆さんが真っ先に当町会に駆けつけていただきました。

カラオケのど自慢の次に、兼六民謡会の「北から南まで民謡の心を訪ねて」と銘打った、14曲の民謡を9名の方により演奏され、素晴らしい唄声が会場に響き渡りました。



その後、ちびっ子たちが今か今かと待ち臨んだ「マル・マル・モリ・モリ」が始まりました。壇上に子どもたちが集まると周りのご父兄の熱い声援。ビデオカメラやカメラのフラッシュが一斉に音を立ててすぎましいこと。子どもたちはすっかりスター気分です。

夜のとばりが降りたころ、歌手畠村義隆さんによる「しまちゃんオン・ステージ」が始まりました。2年越しの出演依頼で漸くかなったステージでした。歌あり、巧みな話術ありで30分があっという間、会場から大きな拍手が湧きました。



アイスクャンディが配られる頃には青壮年部、子供会、悠々サロンの模擬店、ジュース類が全て完売という今までにない大繁盛ぶりでした。今回は50周年を記念して、近隣各町会の皆様をご招待いたしました。柳橋町会長、千木親和町会長、福久南町会長、福久町会長、荒屋町町会の皆様のほか、前

田町連副会長や各町会役員の方々にもご来場を賜りました。奥田衆議院議員、谷内県議、麦田市議も駆けつけていただきました。ご来場を賜りました皆様に厚くお礼を申し上げます。

今回は兼六民謡会のご協力を得て生演奏と唄により、踊り流しが行われ、「やっぱり生演奏はいいねえ」と大好評でした。例年と会場がことなり、多彩なイベントを企画したり、町民の足を確保するためのシャトルバスを運行したり、仮設トイレを設置したりと大がかりな準備となりましたが、関係各位の皆さんが一丸となって本大会を支援、尽力され、また、近隣各企業、町民の多くの皆さんから多額のご芳志を賜りました。

ご支援・ご協力のおかげ様で、50周年記念にふさわしい盛大な盆踊り大会となりましたことに深く感謝致しております。ありがとうございました。

8. 8月12日盆踊り大会の後片付けを実施、同日打上げ会開催。

8月12日(日)AM 8:00より荒屋八幡公園の後片付けを執行部役員、班長さんで行いました。当日は朝からカンカン照りのお天気で、テント、机、椅子の撤収、公民館への返却、ゴミの片付け、荒屋町集会場の清掃、荒屋会館、南小公園倉庫への備品の搬入等々、午前中いっぱい汗だくの作業でした。参加して頂いた皆さん、本当にご苦労さまでございました。

PM5:00より荒屋会館2階において、執行部役員、班長、部会代表者、同好会代表者、総勢24名により打上げ会を開催いたしました。和気あいあいの歓談の中にも、本大会について色々なご意見や感想も出され、今後の運営について有意義な会合となりました。

9. 第16回千坂校下防災訓練が実施されました。

8月26日(日)AM 7:30にM7.3(震度6)の地震が発生したとの想定で、各家庭の安否情報を班長さんが集計、児童公園にて町会長、副会長に報告するという一連の訓練を実施致しました。その後、全員徒歩で千坂小学校に向かいAM9:00より各町会ごとに災害図上訓練を行いました。当町会は2チームに分かれ、地図上にマーカーで道路、目立つ建築物、川、用水、緑地帯、広場等を書き込み、地震と集中豪雨の2通りの災害が発生した想定のもと、どこに避難したら安全かを確認しあいました。

当町会の場合は周りに用水があり、今夏各地で発生した集中豪雨に見舞われた場合、殆どの家屋が水没するのではないかと思われる状況でした。全世帯268軒中120軒が70歳以上という現状で、町内の皆さんを全員直ちに安全な場所に避難させるという事が非常に困難なことも実感させられた訓練でした。今回の図上訓練を活かし、町内の皆さんに防災の意識を今まで以上に持って頂くために、「向こう三軒両隣の絆づくり」をより一層強固に推進していかなければならないと痛感致しました。

10. 荒屋町住宅団地町会50周年記念事業「第7回実行委員会」開催！

8月29日(水)PM8:00より荒屋会館3階において、荒屋町住宅団地町会50周年記念事業「第7回実行委員会」が開催されました。協議事項として記念誌掲載の座談会原稿についてのチェックと11月4日に開催予定の文化祭の企画案について検討致しました。

次回は9月26日(水)に開催することを決め、終了致しました

1 1. 第3回合同役員会（執行部役員・班長）開催される。

9月7日(金)PM8:00より荒屋会館3階において、「第3回合同役員会」が開催されました。今回は敬老の日にお届けする紅白饅頭の件と9月30日開催の第59回千坂校下社会体育大会について話し合いがなされました。紅白饅頭については16日(日)AM8:30から班長さんが該当世帯に持参することに決定。社会体育大会に出場する選手選出については青壮年部への依頼経緯が太田レクリエーション担当副会長より説明があり、当日のスケジュールや準備についてはプログラムが配布された時点で詳細内容を班長さんに知らせることになりました。

昨年は1点差で4位という残念な結果でしたが、今年は優勝を目指すことを全員で確認し、各班で運動能力に優れた人の選出を班長さんも率先して行なってもらいたい由、町会長から要請があり、終会となりました。

1 2. 敬老の日に永年の地域社会貢献に感謝の気持ちをこめて、70歳以上の高齢者(世帯単位)に紅白饅頭をお贈りしました。(158名、117世帯)

町会は敬老の日先立ち、9月16日(日)に今年も昨年同様70歳以上の高齢者を有する世帯(117世帯)へ、ささやかではありますが、紅白饅頭をお贈りし、永年にわたる地域へのご協力に感謝するとともに、ますますのご健勝を祈念致しました。

1 3. 平成25年度町会長候補者の募集について。

次期町会長選出については、本年度第50回定期総会において決定された「町会長選出および町会長業務に関する取り決め」により、「町会長の任期は1年とし、さらに執行部からの留任依頼が要請された場合でも2年を限度とする。但し、翌年、町会長の募集締め切りまでに、自ら立候補もしくは、推薦を受託された場合、この限りではない、」としているところですが、来年度の町会長選出に関して募集を募る時期となってまいりました。

町会が当面している課題に積極的に取り組む意欲のある方を募集しています。

下記の通り自薦他薦を問わず募集いたしますので、積極果敢に応募されますよう、お願い申し上げます。

記

応募締切：平成24年10月21日(日)PM5:00

届出先：各担当ブロック長

届出方法：立候補者本人又は推薦者(候補者の了解を得た者に限る)からの電話、もしくは任意の届け出用紙による

お く や み

13班の澤田雅江さん(81歳)が6月29日、16班の小峰正保さん(90歳)が7月7日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【各部会・各種同好会・サークル活動報告】

福寿会研修旅行で宇宙科学博物館へ

荒屋団地福寿会では、1泊2日の行程（6/27～28）で研修旅行を開催しました。参加者23名（男性7名、女性16名）がホテル配車バスに乗り込み、協和工業前をPM1:30に出発して、最初の目的地コスモイル羽咋に向かいました。

羽咋はUFOの町と全国的にも良く知られており、本物に遭える宇宙科学博物館が人気を博しています。ガイドさんが懇切丁寧に説明してくれました。ガイドさんは宇宙科学の一般知識も豊富で、かなり勉強のあとが伺うことができました。

宿泊のホテルは「のと楽」。平日だというのにホテルは全館満室。客層は70～80代の高齢者で占められていました。このため、風呂は芋の子洗いのごとし、宴会場に向かう3基のエレベーターはどれも超満員で通過、また通過。結局15分もエレベーターを待つことに。

今回も足腰が痛い参加を見合わせる人が増えました。新規加入者が殆どないため、高齢化が顕著となり、会員増を如何にして図るかが切実な問題となっています。

60歳以上の皆さん、是非、荒屋団地福寿会に入会されませんか。楽しいですよ！！



最初に目に入るのがルナローバー月面車。



のと楽での楽しい宴会の始まり！！

“荒屋団地50年の思い出を語ろう会” 第59回荒屋悠々サロン開催

7月21日(土)、第59回荒屋悠々サロンが開催されました。

最初に北永民生委員から「簡単な暑さ対策」として、熱いおしぼりを安全に簡単に作る方法について実演がありました。ビニール袋にタオルを入れ、茶碗に2杯の熱湯を注ぎ、それをタオルで巻いてよく浸透させて出来上がりです。電子レンジがなくてもすばやくできる方法を参加者全員で試してみました。次に、高齢者福祉施設で使用されている「パーソナルゴミ箱」を広告チラシを用いて折紙で作成しました。テーブル中央に置かれているサンプルの箱を参考に一人5～6個作成しました。これを福祉施設に寄付することとしました。



これが終わり、町会50周年記念を迎えることから、思い出などを語り合うことにしました。50周年記念誌掲載用の参考資料として、提供のあった写真を見ながら話が弾みました。特に昭和48年に深谷温泉観音荘で撮影された婦人部行事集合写真に話題が沸騰しました。参加者の中で自分が写っているのに気が付かなくて、ある人から「この人はあなたよ」と言われて、そういえばそうかも……と記憶をたぐっておられ、会場に笑い声が響きました。聞くところによれば、当時観音荘にダンスホールがあって、荒屋団地のご婦人

方がよく利用されたようです。最後に全員元気よく「いいね金沢健康体操」をしました。

福祉バスで銭五記念館、大野醤油蔵元に研修旅行

9月6日(木)荒屋団地福寿会は、金沢市福祉バスを利用した研修旅行を実施し、市内近郊の施設めぐりをしました。各種行事の参加者数が漸減傾向にあった中、今回は27名(男性7名、女性20名)が参加し、幸いに増加に転じて先行きの行事に明るさが見えました。

最初に向かったのは、金石に位置する石川県銭屋五兵衛記念館と銭五の館。39歳で海運業に転じて、北前船交易により全国屈指の豪商に上り詰めたが、加賀藩の策略で投獄され、80歳で牢死した。明治になり銭五の無実が明らかになり、その功績を称えることになった。海の百万石と称される豪快な海の男の生きざまに魅力を感じました。

ここを見学してから、金沢海みらい図書館に向かいました。

その次は大野町の醤油製造蔵元へ。古い建物が立ち並んだ景観も趣があります。建物は現在も醤油、味噌製造に使われている現役の建物。

この建物群の一部が醤油や調味料の販売店になっている所で、醤油アイスクリームやお土産を買いこむ人で込み合いました。

大野町を後にして、昼食と温泉が楽しめる金沢「ゆめのゆ」に行きました。

平日にもかかわらず店内には大勢の人で賑わっていました。温泉に入ってから昼食となりま

した。食べながら歓談しながら飲みながら、大いに親交を深め、恒例のカラオケが始まりました。

金沢市福祉バスの抽選は今年も当たりとなりました。福寿会会長のくじ運のいいのに不思議ささえ覚えます。お蔭様でこのように大勢の人が見聞を広め、親交を深めることができました。福寿会は新規加入者を募集しています。是非一緒に楽しみませんか。



銭屋五兵衛の豪華な仏壇の説明を受ける

「6年間の活動を迎ろう」 第60回荒屋悠々サロン開催

9月15日(土)、第60回荒屋悠々サロンが開催されました。

平成18年9月30日に第1回が開催され、今回は6周年60回目の開催となりました。



6周年を記念して、初回から今回までの記録を、町会ホームページ悠々サロンのコーナーから、悠々サロンだよりや記録写真を検索して、65インチディスプレイで表示し、代表から画面を見ながら開催内容の説明が行われました。

65インチの大型液晶テレビが整備されて、毎回ビデオや金沢健康体操が大きな画面で見られるので参加者から、旧集会所と格段の差があって快適な環境で楽しい時間を過ごせると喜ばれています。

次回から2か月ごとに誕生会を行うことになりました。

荒屋団地子供会「子ども太鼓みこし行列」町内を巡行！！

9月16日(日)AM9:00に子供会の子どもたち46名、育成委員9名、付き添いのご父兄10名総勢65名で、恒例の「子ども太鼓みこし行列」が町内を巡行しました。当日は朝からうだるような暑さでしたが、子どもたちは町内約4.5キロ、2時間30分の行程を一生懸命、元気に歩き通しました。田上町会長はじめ地内の皆様からの暖かい励ましのご声援、ご協力のおかげ様で熱射病にもならず、大きなトラブルもなく無事終わることができました。

今年は町会50周年の記念として子どもみこし(ダンボール製)を新調致しました。永年の念願でした子供会専用倉庫も北小公園に設置がかないました。又、先月の家族県政学習バス研修や盆踊り大会での浴衣の肩上げ、かわいい髪飾りの制作等々、子どもたちに対し大勢の皆様から暖かいお力添えやご協力を頂いていることを痛感致しました。本当にありがたく

思っております。

今回の巡行には皆様から過分なご祝儀を頂きました。

(53件、76,500円)

このご祝儀が子供会の貴重な活動資金となっております。有意義に活用させていただきます。まことにありがとうございました。

今後とも子供会活動へのご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

